

さといも栽培暦(大和)

豊肥振興局生産流通部
JAおおいた豊後大野事業部
豊後大野市農業振興課

月・旬		作業体系	管理作業の要点																														
3月	上	圃場準備	圃場準備 ・圃場は3~4年さといもを作付していない圃場及びかん水設備が整備された圃場を選ぶ。 ・センチウ対策として事前にD-D等で土壤消毒をする。 ・植付け1ヶ月前に堆肥・苦土石灰を施用し、深耕する。 ※特に石灰の散布は芽つぶれ症を抑制するため重要である。 また、植付け10日前に元肥を施用し、細土、整地する。 ・畝立て前にダイアジノンSLゾル(50倍希釈、100ℓ/10a)でコガネムシ防除しておく ・定植1週間前に畝を作り、マルチを張る。(畝の高さは30cm程度、幅は120cm、株間35~40cm程度とする。) ● 大和10aあたり施肥例(元肥一発体系) <table border="1"> <tr> <td>堆肥</td> <td>苦土石灰</td> <td>BMようりん</td> <td>硫酸カリ</td> <td>CDUS555</td> <td>LPコート(S100日タイプ)</td> <td>N-P-K</td> </tr> <tr> <td>3,000</td> <td>200(10袋)</td> <td>40(2袋)</td> <td>20(1袋)</td> <td>80(4袋)</td> <td>10(1袋)</td> <td>16-20-22</td> </tr> </table>	堆肥	苦土石灰	BMようりん	硫酸カリ	CDUS555	LPコート(S100日タイプ)	N-P-K	3,000	200(10袋)	40(2袋)	20(1袋)	80(4袋)	10(1袋)	16-20-22																
	堆肥			苦土石灰	BMようりん	硫酸カリ	CDUS555	LPコート(S100日タイプ)	N-P-K																								
	3,000			200(10袋)	40(2袋)	20(1袋)	80(4袋)	10(1袋)	16-20-22																								
中	定植準備																																
下																																	
4月	上	定植	種いも準備 10aあたり180~200kgの種芋を準備する。 ● 種子消毒の方法 ベンレートT水和剤20(20倍希釈 1分間浸漬、又は種芋重量の0.4~0.5%粉衣処理)およびバダンSG水溶剤(300倍希釈 30分間浸漬)で種子消毒する。																														
	中																																
	下																																
5月	上	芽かぎ	定植 ・4月中旬を目処に定植を行う。 ・35~40cm間隔でマルチに穴を開け、20cm程度の深さに芽が上になるように植えつける。 ・植穴に土を入れる際にアマイヤー1粒剤でアブラムシ防除を行う。																														
	中																																
	下																																
6月	上	除草	かん水 ① 梅雨明け以降、土壤が乾燥する前にかん水を行う。(水田は畝間かん水でも良い。) ② かん水する際は、事前に排水対策を十分に行い、早朝あるいは夕方にかん水する。 ③ 8月上旬~9月中旬の乾燥はさといもの肥大、品質に影響するため特に注意する。																														
	中																																
	下																																
7月	上	アブラムシ防除	病害虫対策 同一系統薬剤の連用により効果が低下する為、防除暦や下記の表を参考に、ローテーション散布を行う。 ※ ハスモンヨウの発生が確認されたら、早期防除を行う。																														
	中																																
	下																																
8月	上	重点かん水期	主な使用薬剤(平成25年11月 現在) <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名</th> <th>対象病害虫</th> <th>希釈倍率</th> <th>使用回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アディオン乳剤</td> <td>アブラムシ</td> <td>3000倍</td> <td>5回以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>エルサン乳剤</td> <td>アブラムシ</td> <td>1000~2000倍</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コテツフロアブル</td> <td>ハダニ ハスモンヨウ</td> <td>2000倍</td> <td>2回以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フェニックス顆粒水和剤</td> <td>ハスモンヨウ</td> <td>2000倍</td> <td>2回以内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレオフロアブル</td> <td>ハスモンヨウ</td> <td>1000~2000倍</td> <td>2回以内</td> <td>中齢~老齢幼虫に効果。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名	対象病害虫	希釈倍率	使用回数	備考	アディオン乳剤	アブラムシ	3000倍	5回以内		エルサン乳剤	アブラムシ	1000~2000倍	1回		コテツフロアブル	ハダニ ハスモンヨウ	2000倍	2回以内		フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨウ	2000倍	2回以内		プレオフロアブル	ハスモンヨウ	1000~2000倍	2回以内	中齢~老齢幼虫に効果。
	薬剤名			対象病害虫	希釈倍率	使用回数	備考																										
	アディオン乳剤			アブラムシ	3000倍	5回以内																											
エルサン乳剤	アブラムシ	1000~2000倍	1回																														
コテツフロアブル	ハダニ ハスモンヨウ	2000倍	2回以内																														
フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨウ	2000倍	2回以内																														
プレオフロアブル	ハスモンヨウ	1000~2000倍	2回以内	中齢~老齢幼虫に効果。																													
中																																	
下																																	
9月	上	ハダニ防除	※里芋は薬剤をはじきやすい為、展着剤を混用すること																														
	中																																
	下																																
10月	上	ハスモンヨウ防除	貯蔵 (留意点) 寒に当たると芋が腐敗するので、年明け出荷分については土中に貯蔵を行う。この時、出来る限り芋は株から切り離さないようにする																														
	中																																
	下																																
11月 12月	上	収穫・貯蔵	さといもの貯蔵法(基本) ①必ず葉を下向きにする ②わら、かや、こも、水稲わらで覆う ③50cm以上覆う ④ビニールシートで覆う ⑤農作業に入ったらさらに10cm以上土をかぶせる																														
	下																																

圃場準備

- 圃場は3~4年さといもを作付していない圃場及びかん水設備が整備された圃場を選ぶ。
- センチウ対策として事前にD-D等で土壤消毒をする。
- 植付け1ヶ月前に堆肥・苦土石灰を施用し、深耕する。 ※特に石灰の散布は芽つぶれ症を抑制するため重要である。
- また、植付け10日前に元肥を施用し、細土、整地する。
- 畝立て前にダイアジノンSLゾル(50倍希釈、100ℓ/10a)でコガネムシ防除しておく
- 定植1週間前に畝を作り、マルチを張る。(畝の高さは30cm程度、幅は120cm、株間35~40cm程度とする。)

● 大和10aあたり施肥例(元肥一発体系)

堆肥	苦土石灰	BMようりん	硫酸カリ	CDUS555	LPコート(S100日タイプ)	N-P-K
3,000	200(10袋)	40(2袋)	20(1袋)	80(4袋)	10(1袋)	16-20-22

種いも準備

10aあたり180~200kgの種芋を準備する。

● 種子消毒の方法

ベンレートT水和剤20(20倍希釈 1分間浸漬、又は種芋重量の0.4~0.5%粉衣処理)およびバダンSG水溶剤(300倍希釈 30分間浸漬)で種子消毒する。

定植

- 4月中旬を目処に定植を行う。
- 35~40cm間隔でマルチに穴を開け、20cm程度の深さに芽が上になるように植えつける。
- 植穴に土を入れる際にアマイヤー1粒剤でアブラムシ防除を行う。

さといもの植え付け方法

芽かぎ・除草

芽かぎ
マルチ穴から芽が複数出た場合、最も強いものを1本を残して、残りの芽をかき取る。

除草
ブリグロックスL、バスタ液等で除草をする。(いずれも畝間処理とする。)

かん水

- 梅雨明け以降、土壤が乾燥する前にかん水を行う。(水田は畝間かん水でも良い。)
- かん水する際は、事前に排水対策を十分に行い、早朝あるいは夕方にかん水する。
- 8月上旬~9月中旬の乾燥はさといもの肥大、品質に影響するため特に注意する。

病害虫対策

同一系統薬剤の連用により効果が低下する為、防除暦や下記の表を参考に、ローテーション散布を行う。
※ ハスモンヨウの発生が確認されたら、早期防除を行う。

● 主な使用薬剤(平成25年11月 現在)

薬剤名	対象病害虫	希釈倍率	使用回数	備考
アディオン乳剤	アブラムシ	3000倍	5回以内	
エルサン乳剤	アブラムシ	1000~2000倍	1回	
コテツフロアブル	ハダニ ハスモンヨウ	2000倍	2回以内	
フェニックス顆粒水和剤	ハスモンヨウ	2000倍	2回以内	
プレオフロアブル	ハスモンヨウ	1000~2000倍	2回以内	中齢~老齢幼虫に効果。

※里芋は薬剤をはじきやすい為、展着剤を混用すること

貯蔵

(留意点) 寒に当たると芋が腐敗するので、年明け出荷分については土中に貯蔵を行う。この時、出来る限り芋は株から切り離さないようにする

さといもの貯蔵法(基本)

さといもの貯蔵法(簡易)

このような種いもは病気のため使用しない

★ 優良株の選抜ポイント

種いもの形質変化を防ぎ、優良な系統を確保するため、種いもは毎年、優良株を選抜することが重要です。

- 大株で丸い孫芋を多く着生したものの。
- ひ孫はあまりついていない方がよい。
- 大株でも小さい芋を多数着けたものや孫芋の長いものは除外する
- 病気(茎の切り口に赤いスジがあるもの)や親倒れ、腐敗、虫害等のないもの

子は親に似る!